

大学院特別講義

リエゾンにおける転移・逆転移をめぐって

Taming the emotional bias

講師：三井記念病院 精神科部長

中嶋 義文 先生

日時：平成26年11月7日 18:30-19:30

場所：1号館6階 演習室1、2

講演要旨；

本講義ではコンサルテーション・リエゾン／緩和医療での自験例を通して援助者と非援助者の間に出現する転移・逆転移をどのように扱うべきかについて論じる。

参加者は1)「困難な」患者との間に生じる葛藤が主として援助者の感情・認知によるものであることを確認し、2)対人援助における感情バイアスの影響について理解し、3)自らの感情バイアスを取り扱えるようになることが期待される。



いわゆる“difficult patients”との間に生じる葛藤はどの科でも問題になる現象です。患者さんへの「好き嫌い」の感情は、治療者自らの「欠けている部分」を触られているような感情が生じることからおこることである、という「転移」のメカニズムを歴史的背景から噛み砕いて教えていただきました。さらになん患者さんのリエゾンでの実例をもとに治療（支援）の流れと治療する側の感情の移り変わりまで具体的にお話しいただきました。

人間が困難な状況にある他者を援助しようとする大変さに、こちらまで胸が痛む思いをいたしました。しかし、体調・気分の管理の大切さ、さらには頭を使いすぎないようにして、周囲のスタッフと share して感情のバイアスをコントロールすることの重要性を教えてくださいました。何でも自分一人で抱え込もうとしないこと、チームでお互いに支え合うことが大事だと痛感しました。厳しいお仕事を続けておられる中嶋先生の「勇気なきところに希望なし」といった力強いお言葉が沁みました。

